

かい ちよう おん 海潮音

静かな夜
に、潮騒の音
が聞こえる。



何とも贅沢なひと時です。

今回の海潮音は、まさに潮騒の音のことです。何が潮騒の音なのかというと、仏や菩薩の音がそれにあたるのだそうです。仏の声はどこまでも遠くまで聞こえ、ざざー、ざざー、と繰り返し繰り返し声をかけられることから海潮に例えられました。

繰り返し繰り返し声をかけつづけることの大切さを我が娘から最近教わりました。四歳の娘が挨拶週間なのでしようか、会う人会う人に誰彼かまわず「こんにちわー」と挨拶をします。その人が無視をしても、挨拶を返すまでしつこく「こんにちわー」と繰り返す。時にはこの人は怖そうだからやめておいたほうが、、という人でも「こんにちわー」。するとどうでしょうか、ニッコリと「こ



んにちわー」と返してくれるではありませんか。
繰り返し声をかけつづけることの大切さを娘と潮騒の音に教わる長い夏休みです。

安樂死希望で
認知症になり、
全て亡くなった
オランダ人マルゴ
君任取

こんなところに 仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。

かい ほつ 開発

以外と全国に多い町の名前開発町。さて、あなたは何と読みました



か？正解はカイホツです。現代はカイハツと読むことが一般的です。明治の頃まではカイホツと読むことが一般的でした。町名に用いられる場合は、その土地が昔新田開発をした土地であることからその名が付けられた場合が主です。

この場合の意味は、何かを作り出したり、利便性をよくするという意味です。では、仏教の開発はと言いますと、迷妄を取り除く、菩提心を起こす、人々を悟らせるという意味です。世間で言う開発は、外に向かって開発をしていきますが、仏教の開発は、内面に向かっていきます。カイハツは利便性を追求しますが、便利になって不便を感じるというジレンマが生じますが、携帯電話、スマートフォンが登場し、劇的に便利になりましたが、失くしたら大変なことです。この事は、二十年前には



なかった悩みです。そういえば電気がなくなるという映画「サイバイバルファミリ」が上映されていました。必見の映画です。